学校通信

天王丘XI

令和２年10月26日(月)
第　25　号
観音寺市立柞田小学校
発　行

スマートフォンなどの利用に関する調査の結果について

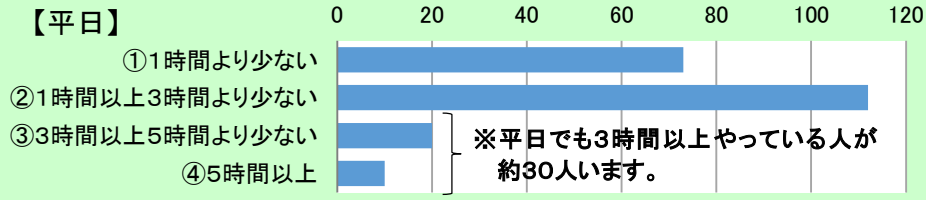
本県では、全国に先駆けて「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」が県議会で可決され、令和２年４月１日から施行されており、条例を踏まえた取組みが求められています。このたび、観音寺市教育委員会から、子どもたちの実態を知るため、アンケート調査の依頼があり、４、５、６年生（調査人数 233 人）に答えてもらいました。その集計結果からうかがえる本校児童のネットやゲームの利用状況等について、以下に紹介します。

○　本校の４～６年生のスマートフォンの所持率は約３割（29.2%）で、そのうち約３分の１はフィルタリング（利用制限）がかかっていません。また、約３分の１の児童は、フィルタリングの有無が「わからない」と回答しています。

○「あなたがスマートフォンやゲーム機などでよくやりとりする相手は誰ですか。」という問いに対して、「家族」、「今の学校の人」と回答する児童が多いのですが、「他の学校の人」(19.7%)や「ネットで知り合った人」(18.0%)と回答する児童も一定数存在しています。

○　ネットやゲームの利用時間（※グラフの単位は人数です）

【平日】



○　ネットやゲームを９時までにやめる児童が最も多いのですが、約１割の児童は、夜 10 時以降もしています。

○　ネットやゲームをするために、テレビを見る時間を削っている児童が最も多いのですが、約４割の児童が、勉強の時間や寝る時間を削っているようです。

○　ネットに夢中になったり、やめようとすると落ち着かなくなるなどのネット依存の傾向がある児童が約５%存在しています。

スマートフォンやゲーム機などを使う場合の
さぬきっ子の約束

①家の人と決めた使用ルールを守ります。

②自分も他の人も傷つけない使い方をします。

③夜9時までには使用を止めます。

正直なところ、この結果に驚いていますが、今やインターネットは、私たちの生活と切り離すことはできません。今後は学校教育においても、一人１台のコンピュータが整備されます。

将来、今以上の高度情報社会を生きていく子どもたちですから、ネットに依存するのではなく、主体的かつ効果的に利用するスキルを身に付けさせることが大切です。そのためにも、利用のしかたについて、家庭で話し合う機会を持っていただければ幸いです。

教育委員会の学校訪問がありました。

10 月 22 日（木）午前中、香川県教育委員会及び観音寺教育委員会による学校訪問があり、約 10 名のお客様が本校の教育活動を視察されました。校長も案内役としていっしょに授業等を参観しましたが、教員の話を聴く姿や元気に発表する姿は、お客様にも好評で、事後に過分なお褒めの言葉をいただきました。慢心することなく、新しい生活様式のなかで、着実な前進を心がけ、引き続き児童の力を伸ばしていきたいと考えています。

※　自由記述欄です。学校の取組みや学校通信に対し、ご意見やご感想があれば記入いただき、子どもに持たせてください。